グローバル・デジタル連結性の実現に向けた日米連携事業

現状把握・課題設定

・デジタル化やデータ活用の急速な進展、国際的な取引関係や国際秩序の新たな動きなど、世界全体の経済構造や競争環境に大きな影響を与える変化がダイナミックに生じている。

・コロナ禍等による半導体等の生産停止やベンダー寡占化による5Gネットワークシステムのブラックボックス化・顧客ロックイン等、サプライチェーンの脆弱性や国家間の相互依存リスク、及び途上国等のインフラ開発に伴う安全性・開放性・透明性等の課題が顕在化している。

・これらの課題に対応するためには、日米GDCP※を基軸とした第三国等との連携が重要であり、かつ、先行する我が国５Gモデル等への各国の期待も高い。（例：我が国は5Gのオープン化に関する製品・技術で他国に先行。特定ベンダーに依存しない、多様なサプライヤーが存在する競争市場の創出を目指している）

インプット（資源）

【予算】令和4年度予算額：70百万円

アクティビティ（活動）

日米GDCPを基軸に経済的・政策的な措置を講じ、経済安全保障上の課題にグローバルに対処する。

①諸外国の政策動向・技術開発動向の調査・分析

②日米第三国間連携による経済安全保障・連携強化に係る官民セミナー・ワークショップの開催

③日米第三国間の政策協議会合

④５G等ネットワークのオープン化、サプライチェーンの強靭化等に向けた日米二国間及び第三国における共同実証事業

アウトプット（活動目標・実績）

同志国との情報共有・連携強化を実施し、共通の価値観を浸透させ、経済安全保障上のリスクの軽減を図る。

①各国政策・動向調査、有志国との共同実証及び第三国支援等件数

②官民セミナー・ワークショップを実施した数

③日米第三国間の政策協議会合実施数

④5G等ネットワークのオープン化、サプライチェーンの強靭化等に資する実証件数

アウトカム（成果目標・実績）

サプライチェーンの強靭化、自立性の確保と優位性の獲得に資する施策により、日米等で連携し、共通の価値観を共有しながら、経済安全保障上重要な国・地域における5G等のデジタルインフラプロジェクトの支援を実施する等、グローバルなデジタルインフラの安全性等の向上を図り、活力あるデジタル経済の一層の促進を目指す。

【短期】	【中期】	【長期】
①同志国との情報共有及び施策案の具体化	①効果的な経済安全保障政策の立案	①多国間連携による経済安全保障政策の実施
②実施した国における安心・安全なデジタルインフラの共通認識醸成	②安心・安全なデジタルインフラの共通認識を有する国の増加	②③共通の価値観を有する多国間枠組の形成
③共通の価値観を有する国との連携強化	③共通の価値観を有する国との更なる連携強化	
④検証済みオープン化対応機器等の増加	④サプライチェーンの多様化、ネットワークの信頼性の向上	④サプライチェーンの強靭化・信頼性の高い我が国企業の製品・技術の浸透

インパクト（国民・社会への影響）

自由かつ開かれた競争市場・経済環境の実現

安全・安心な国民生活

※GDCP：Global Digital Connectivity Partnership（グローバル・デジタル連結性パートナーシップ）